

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<12週> インフルエンザ、感染性胃腸炎は順調に定点当たり報告数が減少している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<インフルエンザ> 2002年第12週の全国定点からの報告総数は36,511(定点当たり報告数は7.8)



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎



速報

(特別な記事はなし)



海外感染症情報
P.6

マラウイでのコレラ流行



感染症の話
P.7-9

レジオネラ症
劇症型の肺炎と一過性のポンティアック熱がある。レジオネラ菌属は、もともと環境に普通に存在する。



読者のコーナー
P.10

全県的な相互乗り入れ予防接種について - 大分県の取り組み



グラフ総覧(12週)
P.11-17



12週のデータ
P.18-25



発生動向総覧

第12週コメント 3月28日集計分

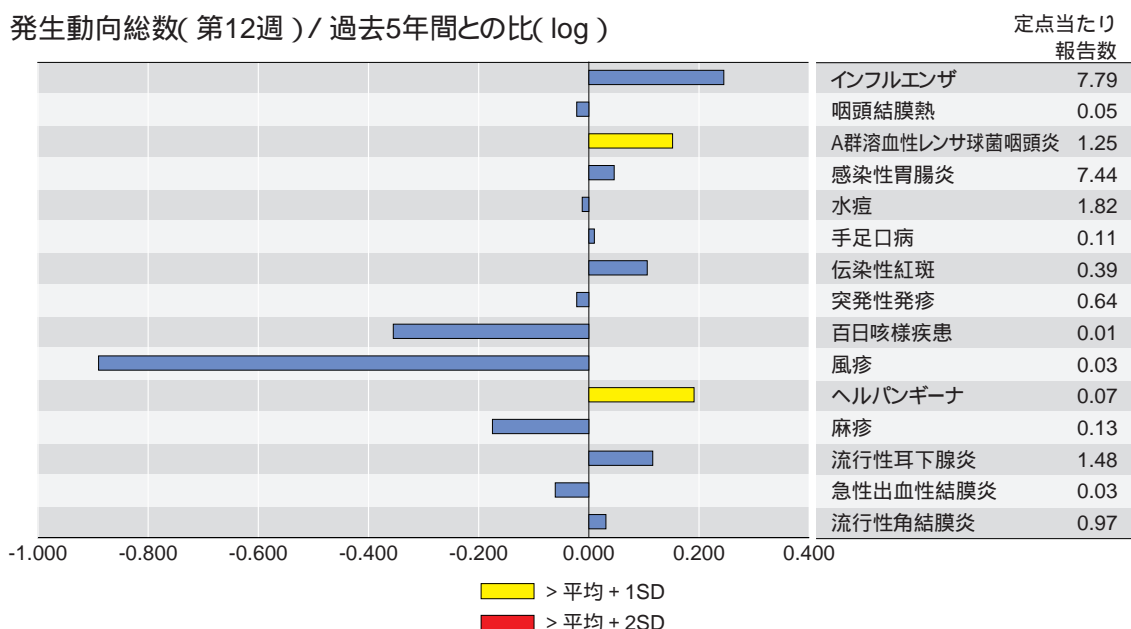
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢11例(推定感染地: 国内4例、タイ2例、インド、エジプト、ベトナム、パングラデシュ、香港各1例。国内感染例のうち3例は山形県からの報告で、10、11週にも報告のあった県内の小学校における集団発生事例に関連している。) 腸チフス1例(推定感染地: ミャンマー)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症8例(うち有症者5例)
 - 4類感染症: アメーバ赤痢4例、オウム病1例(島根県内のレジャー施設におけるアウトブレイクに関連する症例)、ツツガムシ病2例
 急性ウイルス性肝炎11例 A型7例
 B型4例(感染経路: 性的接触2例、不明2例)
 後天性免疫不全症候群11例(AIDS 3例、無症候性キャリア8例)
 感染経路: 性的接触10例(異性間3例、同性間6例、異性/同性間1例)、静注薬物使用1例
 梅毒5例(早期顕症2例、無症候3例)
 マラリア2例(三日熱マラリア1例、推定感染地: インドネシア、型不明・推定感染地不明1例)
- 第11週分として、兵庫県からクリプトスポリジウム症53例が追加報告されている。

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザは新潟県で依然定点当たり報告数が30を超えている(インフルエンザに関する詳しい情報は、4ページ「注目すべき感染症」参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してやや多くなっており、山形県で3.5、北海道で3.3の報告がある。感染性胃腸炎は福井県(定点当たり報告数15.5)と宮崎県(16.2)、大分県(18.2)など九州地方で報告が多くなっており(感染性胃腸炎の病原体については5ページ参照)。ヘルパンギーナは例年の同時期と比較して定点当たり報告数がやや多くなっている。流行性耳下腺炎は、山形県(定点当たり報告数5.2)、沖縄県(4.7)、富山県(4.1)などで定点当たり報告が多くなっている。

発生動向総数(第12週) / 過去5年間との比(log)

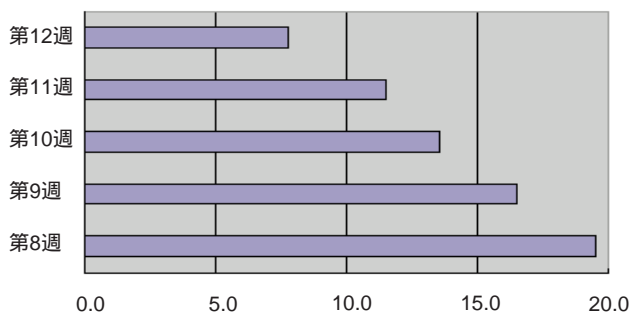


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

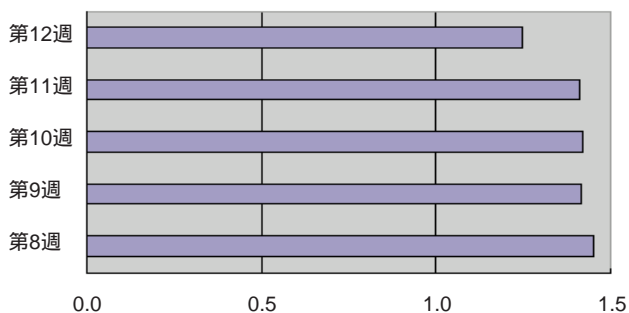
最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザ、感染性胃腸炎は順調に定点当たり報告数が減少している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数はここしばらく横ばいの状態であったが、今週は減少している。水痘と流行性耳下腺炎はここ5週間大きな変化はない。

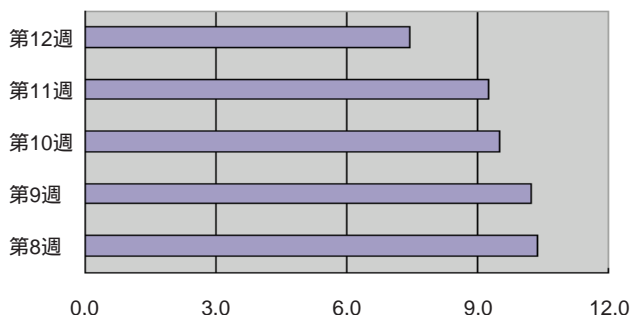
インフルエンザ



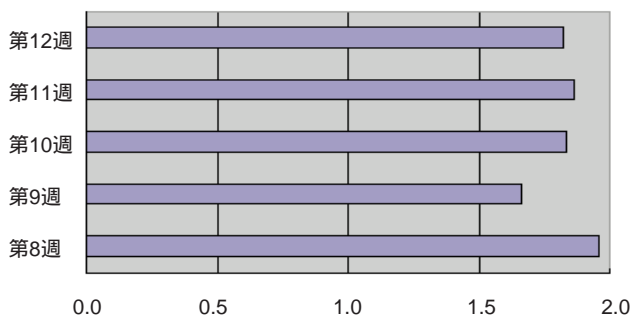
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



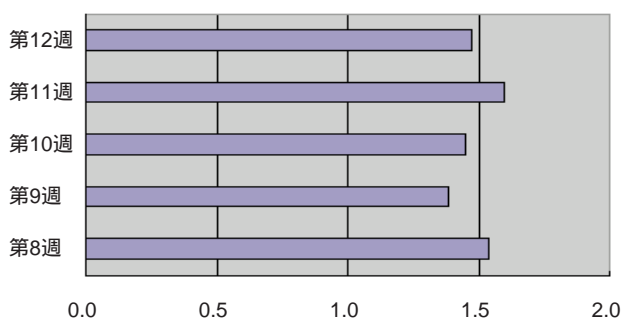
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

インフルエンザ

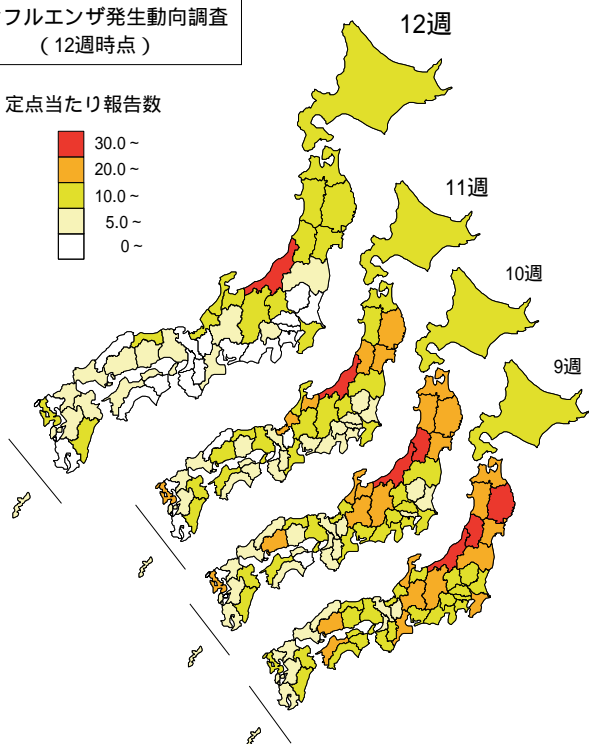
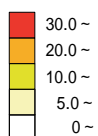
2002年第12週の全国定点からのインフルエンザ報告総数は36,511で、定点当たり報告数は7.8であった。本年第1週からの累積患者報告数は60万4,957人である。今週、定点当たり報告数が多くなっているのは、新潟県(32.9)、山形県(16.6)、北海道(15.9)、福井県(15.1)など北海道、東北、北陸地方である。今週報告された患者を年齢階級別にみると、7歳をピークに10歳未満の小児に多く、10歳未満の小児が全体の約6割、5歳以下の小児が全体の約3割、20歳以上の成人の報告は全体の14%を占めており、1月、2月の傾向にくらべると、6歳以上の年長児の報告の割合がやや高くなっている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、県内の保健所に警報も注意報も見られない県が散見されるようになっている。大きな流行の存在を示唆する「警報」は、北海道内の9保健所、新潟県内の8保健所など計83保健所で発生しており、今後4週間以内に流行現象が生ずる可能性が高い「注意報」は、北海道内の9保健所など全国計60保健所に発生している。全国的に警報、注意報ともに前週より顕著に少なくなっている(「インフルエンザ警報・注意報マップ」は、感染症情報センターホームページ・トピックス「インフルエンザ」参照。インフルエンザウイルスの分離・検出については、5ページ病原体検出情報参照)。

厚生労働省が都道府県の学校担当部局などの協力を得て行っている、学校における「インフルエンザ様疾患発生報告」によると、平成13年10月28日から平成14年3月23日までの累積欠席者数は163,640人(累積患者数は339,102)で、流行が小さかった昨年同期の約2.6倍となっている。

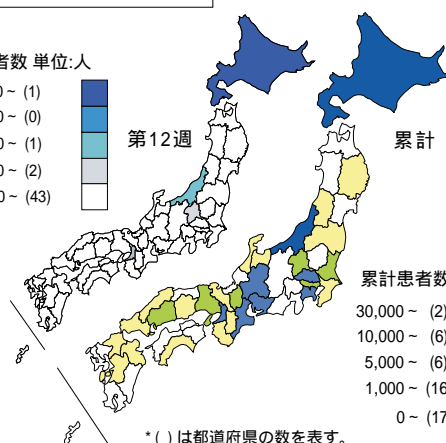
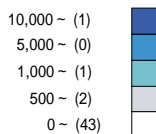
インフルエンザ発生動向調査
(12週時点)

定点当たり報告数

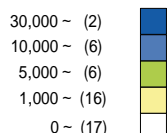


インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)

患者数 単位:人



累計患者数 単位:人



* () は都道府県の数を表す。



病原体情報

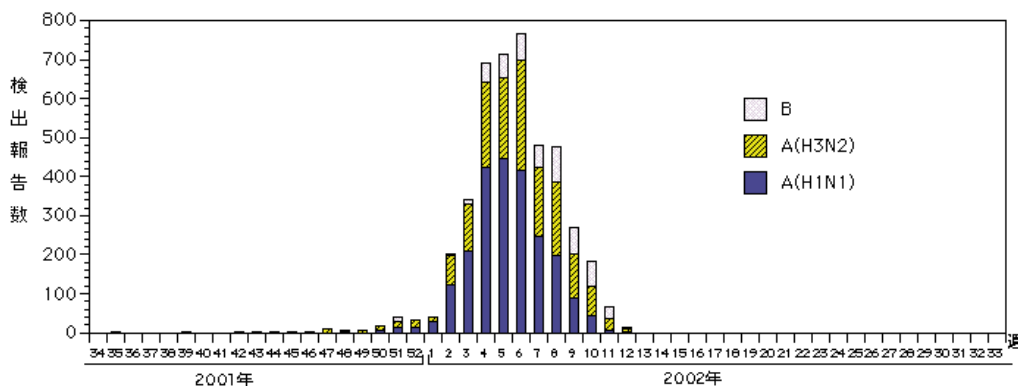
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年3月29日現在報告分)

インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連(H1)型が2,270件(新潟県261、広島県163、奈良県99、香川県99など) A/香港型(H3)が1,576件(札幌市153、福島県133、愛媛県90など) B型は523件(札幌市68、愛知県68、名古屋市60など)である。最近では、A/ソ連(H1)型が第11週に7(7都県市)、第12週に4(横浜市、愛知県、神戸市、北九州市)、A/香港型(H3)が第11週に3(9都県市)、第12週に4(横浜市、富山県、奈良県)、B型が第11週に3(8県市)、第12週に7(横浜市、富山県、名古屋市、神戸市、福岡市)が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報：2002年3月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。*
(*他に40週AH3, 49週Bが国立仙台病院で分離されている)

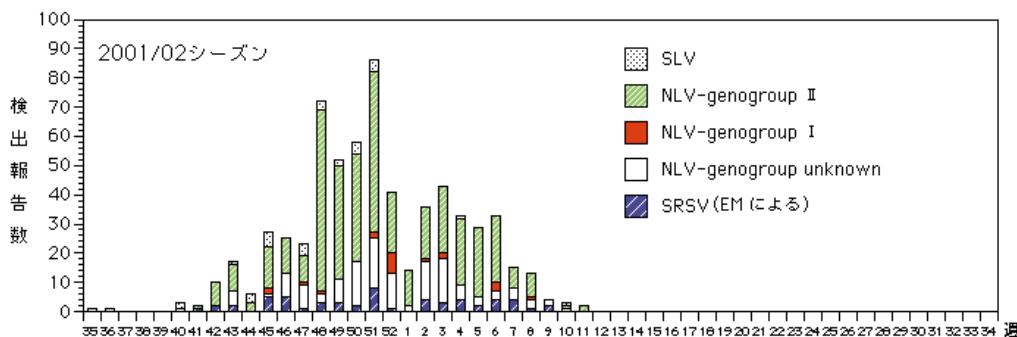


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが411件(広島市63、滋賀県51、岩手県42、愛媛県37など)、NLV genogroup Iが20件(滋賀県8、石川県2、広島市2、長崎県2など)、NLV genogroup unknownが131件(新潟県42、山形県26、東京都15など)、サップロ様ウイルス(SLV)が30件(愛媛県14、岩手県12、広島県4)で、その他に電顕による検出が57件(岡山県21、愛媛県12、北九州市8など)報告された。また、A群ロタウイルス158件(香川県43、奈良県30、新潟県22など)、群不明ロタウイルス18件(愛媛県14、北九州市3、熊本県1)の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン (病原微生物検出情報：2002年3月29日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



海外感染症情報

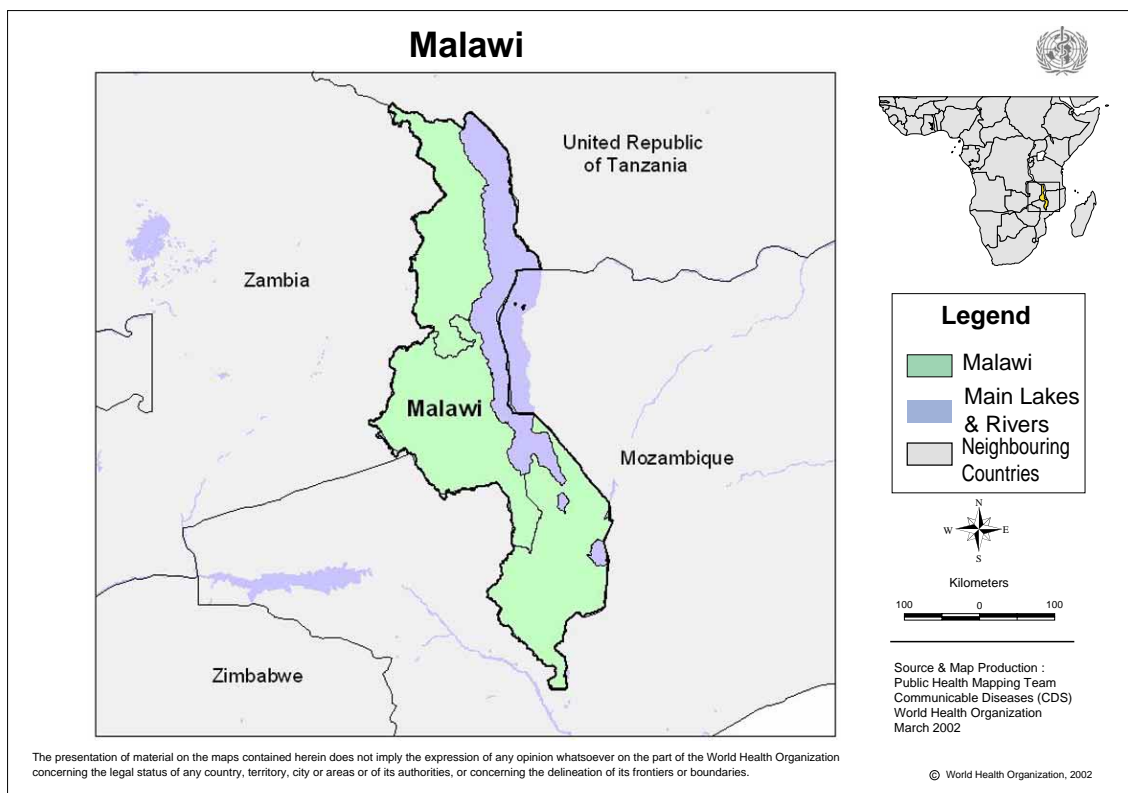
* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

マラウイでのコレラ流行

WHO/CSR 2002年3月26日

3月9日現在WHOは、マラウイで2001年10月28日に流行が始まってから、609名の死亡(致命率2.8%)を含む22,023名のコレラ患者を報告した。最も流行している地域は南部地域で、これまでに患者の69%が発生した。 *Vibrio cholerae* O1が検査で確認された。

保健省は流行を征圧するために、国および地方レベルでコレラ征圧対策部隊を再編成した。また、WHOはUNICEFとともに協力して保健省の対策を援助している。サーベイランス活動が地方レベルで強化され、臨時のコレラ征圧対策センターが設置された。流行地域において塩素処理された水の供給が実施されており、また衛生教育が強化されてきた。村落委員会が組織され、人々に便所の使用や安全な飲み水の飲用を奨励している。





感染症の話

レジオネラ症

レジオネラ・ニューモフィラ (*Legionella pneumophila*) を代表とする細菌感染症で、劇症型の肺炎と一過性のポンティアック熱がある。レジオネラ属菌は、もともと環境に普通に存在する菌である。しかしながら、快適な生活を求めるために、循環水を利用した風呂が好まれ、エアロゾルを発生させる人工環境(噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等)が屋内外に多くなっていることなどが感染する機会を増やしているものと考えられ、感染症法の施行以後、検査技術の進歩とあいまって、報告例が少なからずみられている。

疫学

院内感染、市中感染ともに季節によらずみられ、特にヨーロッパではしばしば旅行と関連してもみられる。人から人への感染はない。レジオネラ肺炎は市中肺炎の3～10%を占め、潜伏期は2～10日である。一方、ポンティアック熱は、発病率が95%、潜伏期間が1～2日であるが、集団発生でないと報告にあげにくい。

1999年4月から始まった厚生労働省発生動向調査によると、2001年12月までに294例報告されている。季節によらず発症がみられ(図1)、中高年に多い(図2)。図1でピークのみられる、2000年3月の静岡県の温泉、2000年6月の茨城県の入浴施設における集団発生では、それぞれ23名(2名死亡)、45名(3名死亡)が発症した。しかし、感染源の判明していない事例も多い。ポンティアック熱では、1994年に東京都内で開催された研修会での冷却塔に由来する集団発生例がある。

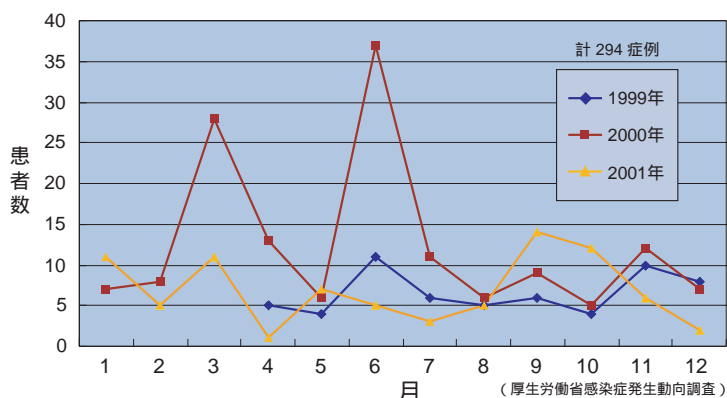


図1. レジオネラ症患者発生状況 (1999.4～2001.12)

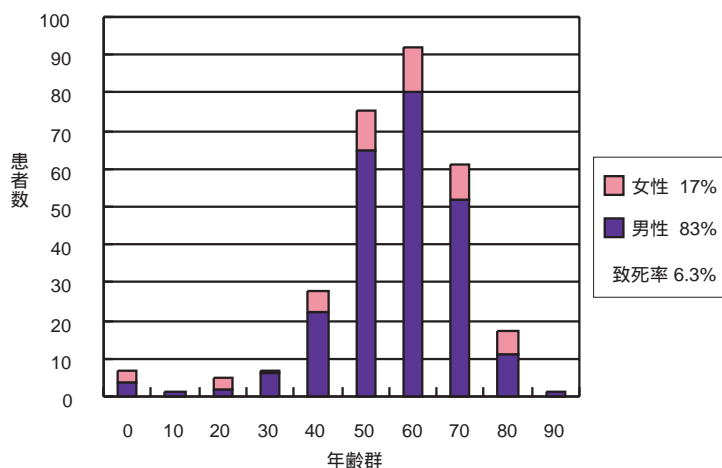


図2. レジオネラ症患者の性別年齢別分布 1999.4～2001.12 (厚生労働省感染症発生動向調査)

病原体

レジオネラ属菌、特にレジオネラ・ニューモフィラによることが多い。レジオネラは本来土壌細菌であるが、冷却塔、給湯系、渦流浴などの人工環境にアメーバを宿主として増殖している。冷却塔には血清群1、温泉や24時間風呂には血清群4, 5, 6のレジオネラ・ニューモフィラが多い。

臨床症状

レジオネラ肺炎は、臨床症状では他の細菌性肺炎との区別は困難である。全身性倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、乾性咳嗽(2～3日後には、膿性～赤褐色の比較的粘稠性に乏しい痰の喀出)、高熱、悪寒、胸痛が見られるようになる。傾眠、昏睡、幻覚、四肢の振せんなどの中枢神経系の症状が早期に出現するのも本症の特徴とされる。胸部X線所見では肺胞性陰影であり、その進行は速い。1999年6月に発症した新生児レジオネラ肺炎の場合、生後8日目に死亡し、剖検時には肺に小豆状の結節が多数みられた(図3)。

ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛で始まるが、一過性で治癒する。



図3. 剖検時肺(小豆状の結節が多数みられる)

病原診断

市販キットによる尿中抗原の検出は特異性が高く簡便迅速なため、最近普及してきた。

菌の分離にはレジオネラ専用の培地(BCYE、あるいはそれに抗菌薬を含んだもの)を用いる必要がある。

検体中の菌はグラム染色では染まらないので、ヒメネス染色やアクリジンオレンジ染色を行う。図4は、新生児の剖検肺のパラフィン切片標本から、ヒメネス染色で菌体を検出できた例である。また、レジオネラ属菌に対する特異抗血清が市販され、間接蛍光抗体法で菌が検出できる。肺炎の剖検例で組織を凍結保存しておけば、後程そこからレジオネラ属菌を分離するのも可能である。

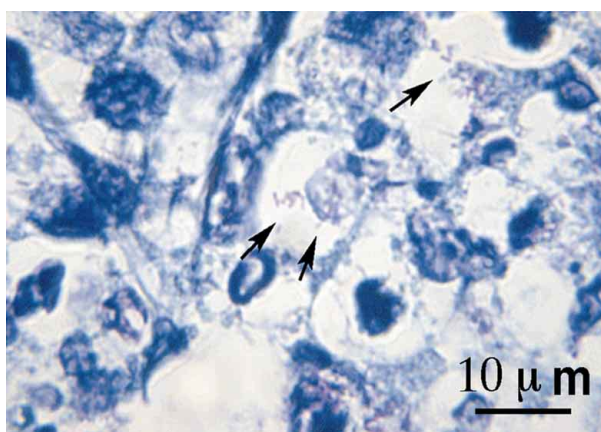


図4. 肺切片のヒメネス染色像(の先に菌がみられる)

環境から分離された菌との同一性が問題になるので、環境水やそこからの分離株も、患者由来の菌種が確定するまでは保存しておくことが必要である。

治療・予防

レジオネラは細胞内寄生細菌であるので、宿主細胞に浸透するエリスロマイシン、リファンピシン、ニューキノロンなどの抗菌薬を使用する必要がある。有効な抗菌薬の投与がなされない場合は、7日以内に死亡することが多い。

エアロゾルの発生する可能性のある温水は、適切な殺菌剤による処理をおこなうか、換水するなどの留意が必要である。また、高齢者や新生児のみならず、細胞性免疫機能が低下した者では肺炎を起こす危険性が通常より高いので、特に留意する必要がある。

感染症法における取り扱い

レジオネラ症は4類感染症全数把握疾患となっており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告の基準は以下のとおりである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出

例：臨床材料(肺組織、痰、胸水、血液、他の無菌的部位)からの菌の分離、Serogroup 1 の場合は臨床材料(肺組織または気道分泌物)からの菌の検出(直接蛍光抗体染色法)など

- ・病原体の抗原の検出

例：尿中抗原の検出(EIA法)など

- ・病原体の遺伝子の検出

例：臨床材料からの遺伝子の検出(PCR法)など

- ・病原体に対する抗体の検出

例：間接蛍光抗体法での特異抗体価の上昇(ペア血清で4倍以上の上昇、または単一血清で256倍以上)など

(国立感染症研究所細菌部 倉 文明 前川純子 渡邊治雄)



読者のコーナー

投稿: 全県的な相互乗り入れ予防接種について - 大分県の取り組み

(大分県小児科医会常任理事 東保裕の介)

平成14年4月1日より、大分県下58のすべての市町村で予防接種の相互乗り入れが開始される。予防接種の全県的広域化は、パイオニアの新潟県が平成6年より接種料金を統一して開始し、その後奈良、三重、岩手が全県下の広域化を達成している。大分県の制度は、契約関係等多くの点において新潟県の方式を参考にした。

大分県方式として、1)県下すべての市町村を対象とする、2)依頼書は不要とする、3)接種料金は統一しない、4)集団を残す市町村も、乗り入れの為の個別接種料金を設定する、5)乗り入れできるワクチンの種類は統一する、以上5点が挙げられる。

以前から全県下の広域化に向けての最大の関門は、接種料金の統一の困難さと、医療事情などによりすべての市町村での個別接種化は不可能、との2点であった。今回、接種料金の問題は、接種料金を統一しない事(被接種児の市町村の接種料金を使用)で解決し、個別化できない事に関しては、集団接種の残る市町村では、相互乗り入れのための個別接種料金を設定することで解決した。依頼書に関しては、すべてを「依頼書なし」で受けられることのできる制度とした。全県的に依頼書なしで行われるのは大分県が初めてである。新潟県の42.3%の市町村は依頼書なしで受けられるが、他県では依頼書を必要としている。

今回、大分県全市町村へのアンケート調査でも、ほとんどが依頼書不要との意見に賛成している。行政の事務量の軽減化、依頼書を取りに行く家族の負担を考えて「依頼書なし」とした。

接種対象者は1)重症病児、2)かかりつけ医が市町村外にいる児、3)病気など医学的理由により集団接種機会を逃した児、などの3点としたが、現実にはそれぞれをチェックする事はできないので、実際の接種者は里帰り中の人なども含めて、すこし幅広くなると思われる。接種可能なワクチンは、新潟県が実施している三種混合(DPT)、麻疹、風疹、日本脳炎、二種混合(DT)に加えて、乳幼児の結核予防のために乳幼児BCGもその対象に加えた。すなわち、ポリオ、学童のBCGを除くすべての定期接種を可能とした。

重症病児の接種に関しては、大分医科大学病院、大分県立病院をはじめ、大分県内で新生児、小児の重症病児を診ている数ヶ所の病院が、(一般小児の接種は行わず)重症病児のみの接種を行う医療機関として参加をいただいている。

大分県内では平成14年度は2月末の締め切りまでに、小児科単科医院、内科・小児科医院、小児科医のいる公立・市立のほとんどの病院をはじめ、301の医療機関が参加の手続きをすませた。これは大分県すべての医療機関の31.7%にあたる。

全県的相互乗り入れを行う事で、1)接種機会が増えることによる接種率の向上、2)重症病児とその家族に対する支援、3)かかりつけ医で受けられる安心感を家族に与える事ができる、4)接種機会の著しい不均衡の是正による住民の不満の解消、などが考えられる。

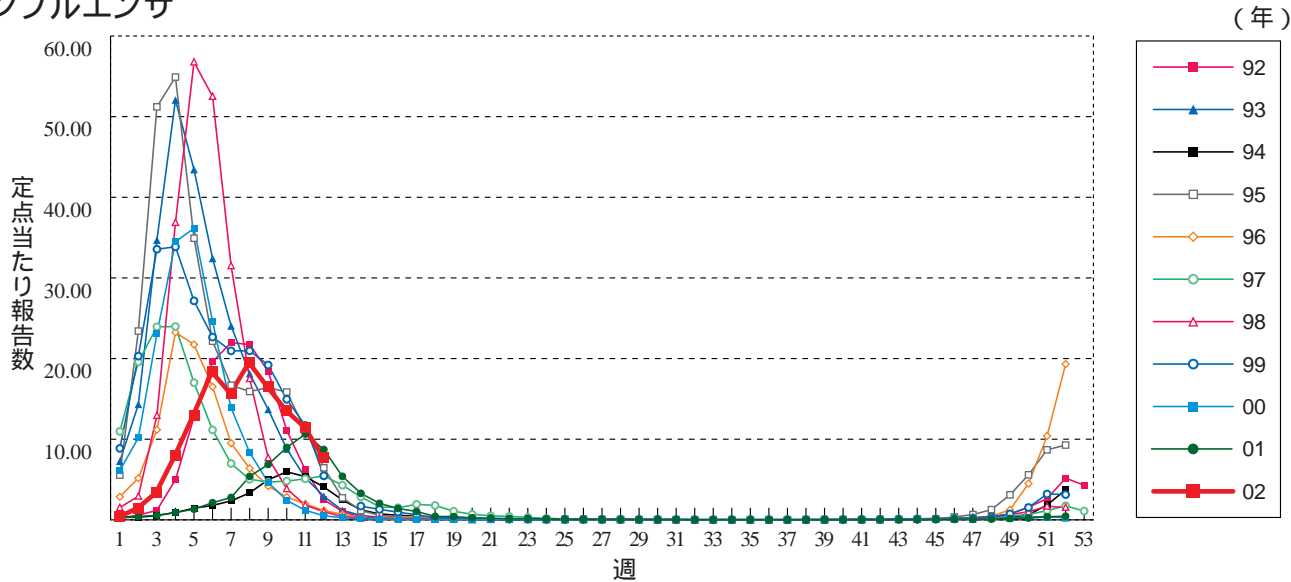
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。

ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

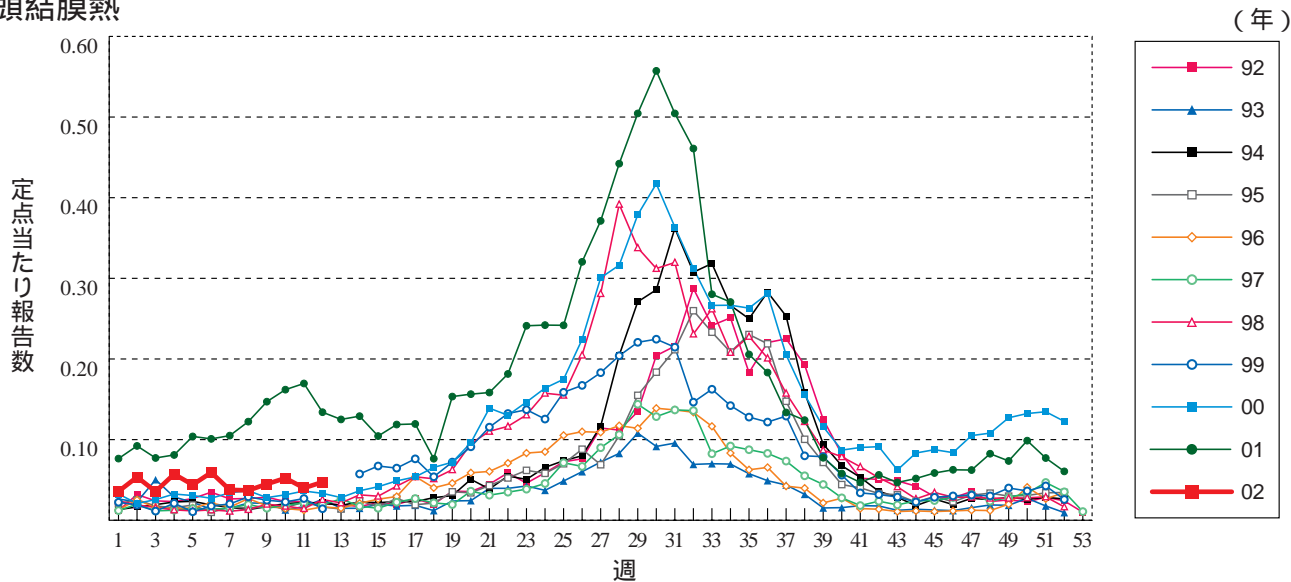
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(12週)

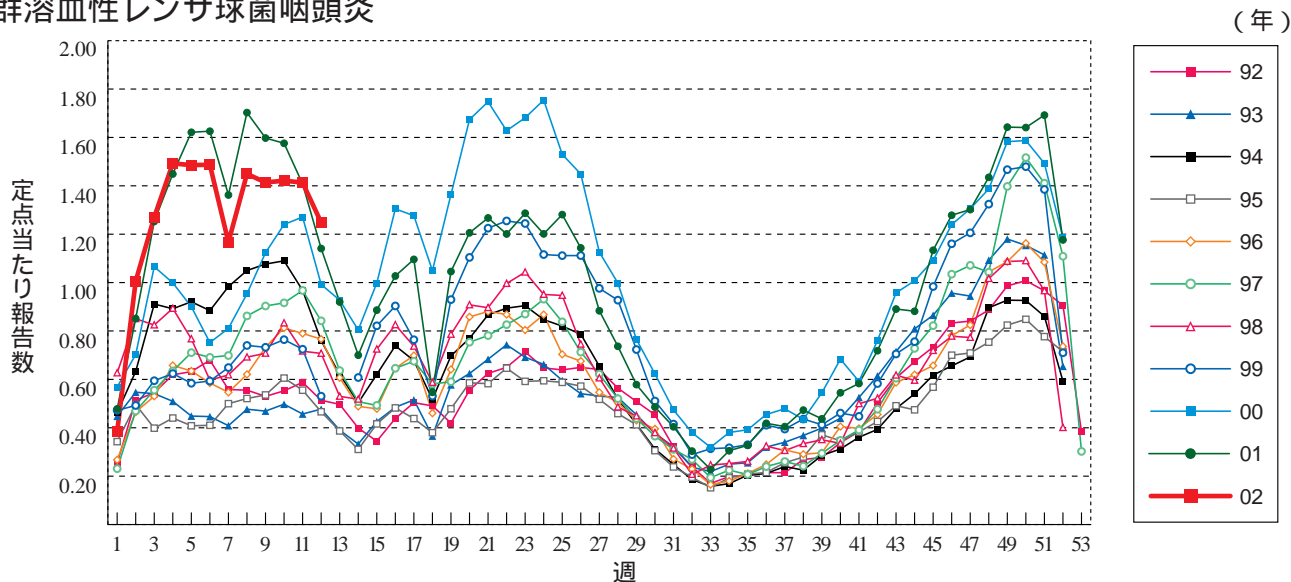
インフルエンザ



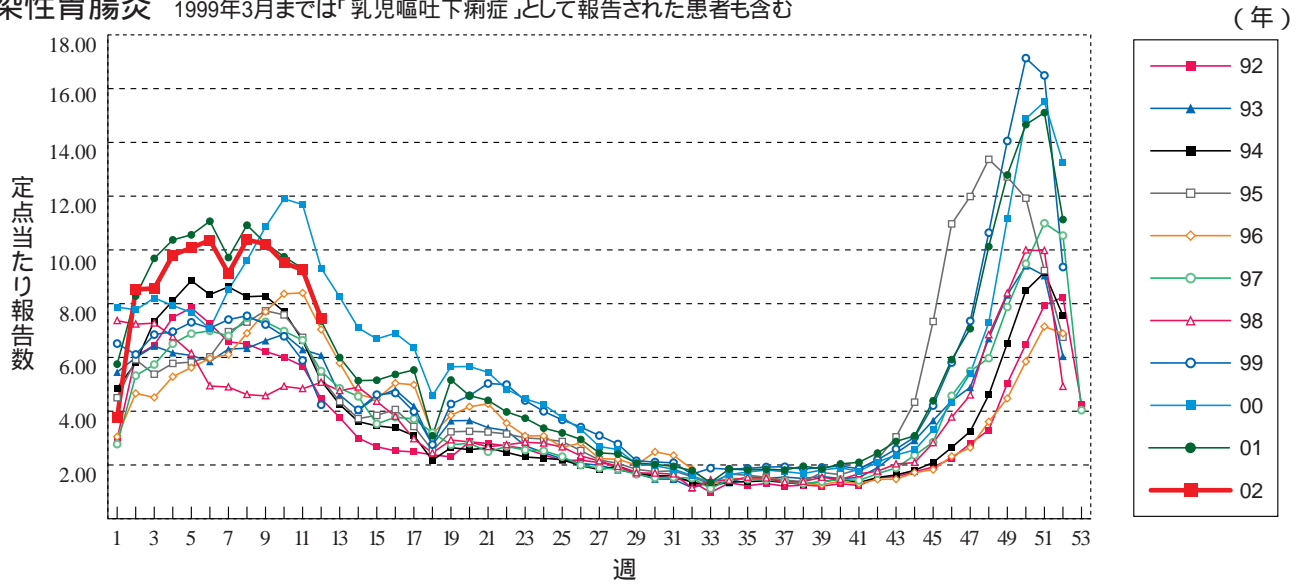
咽頭結膜熱



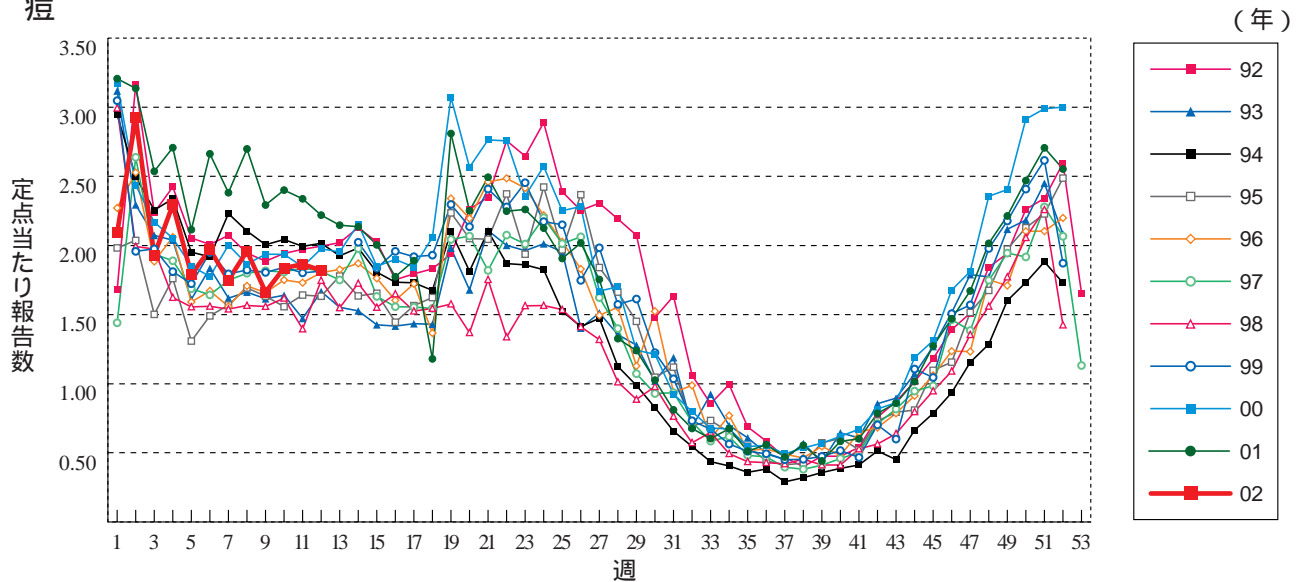
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



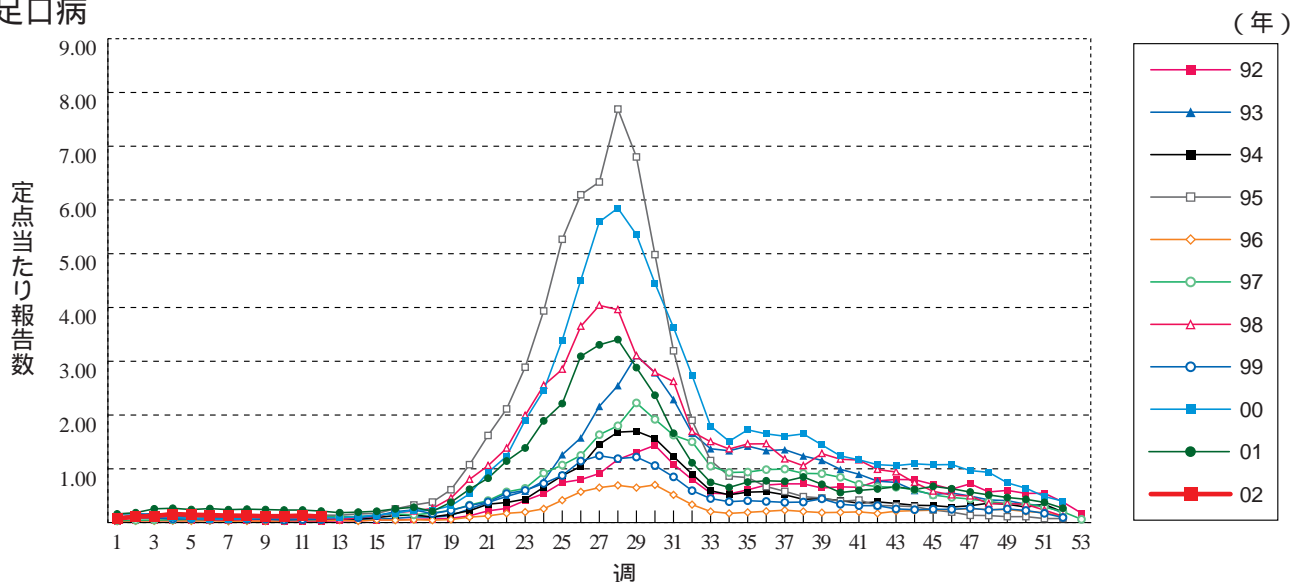
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



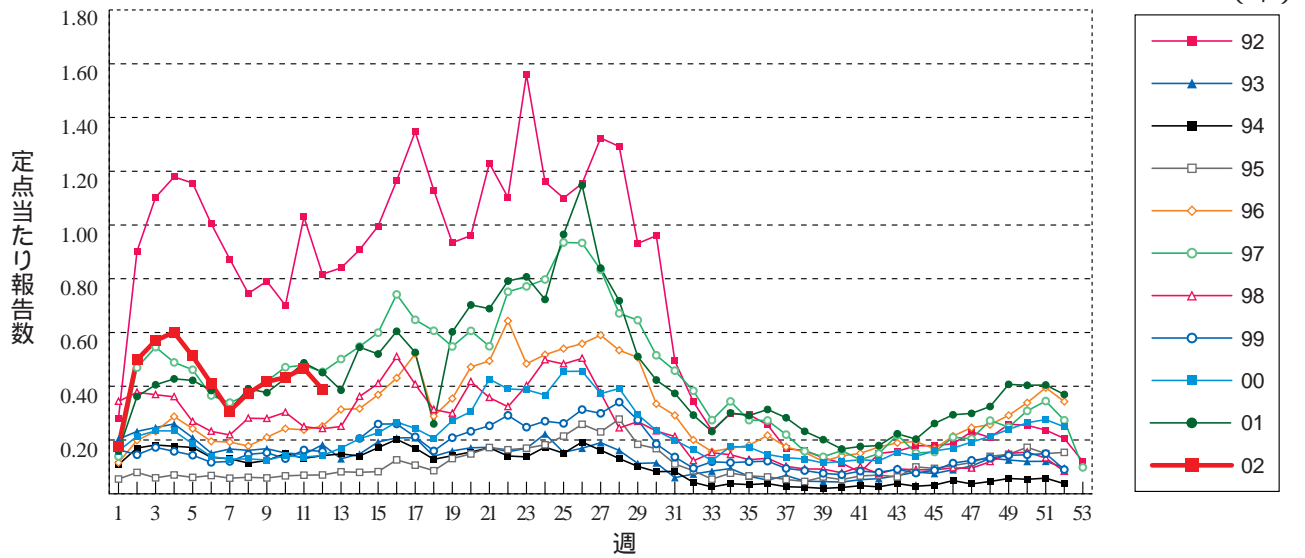
水痘



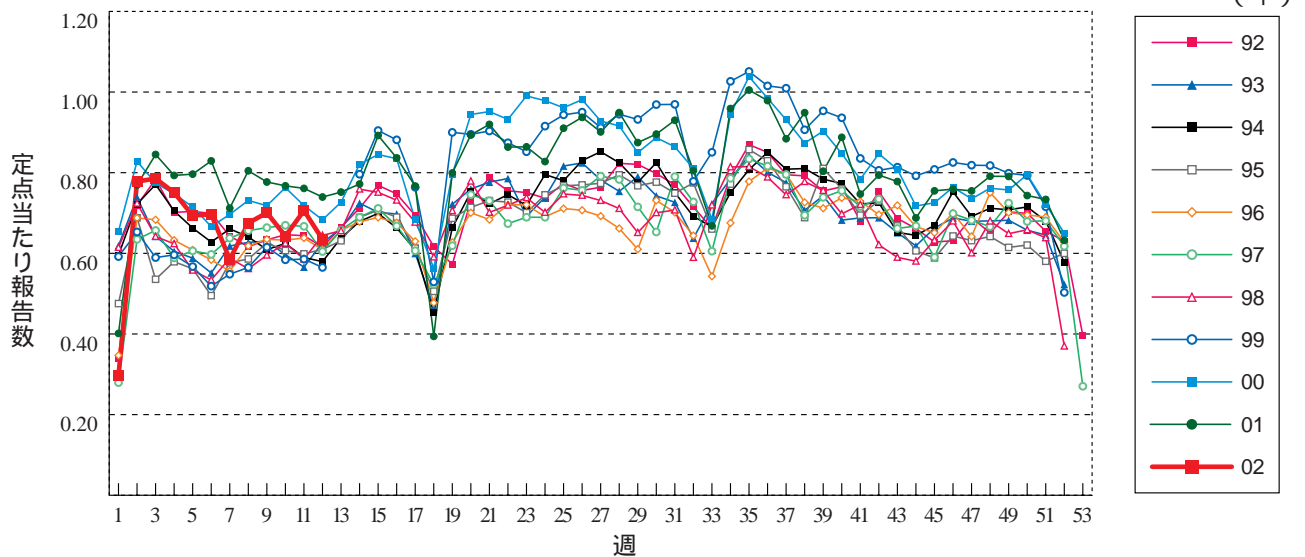
手足口病



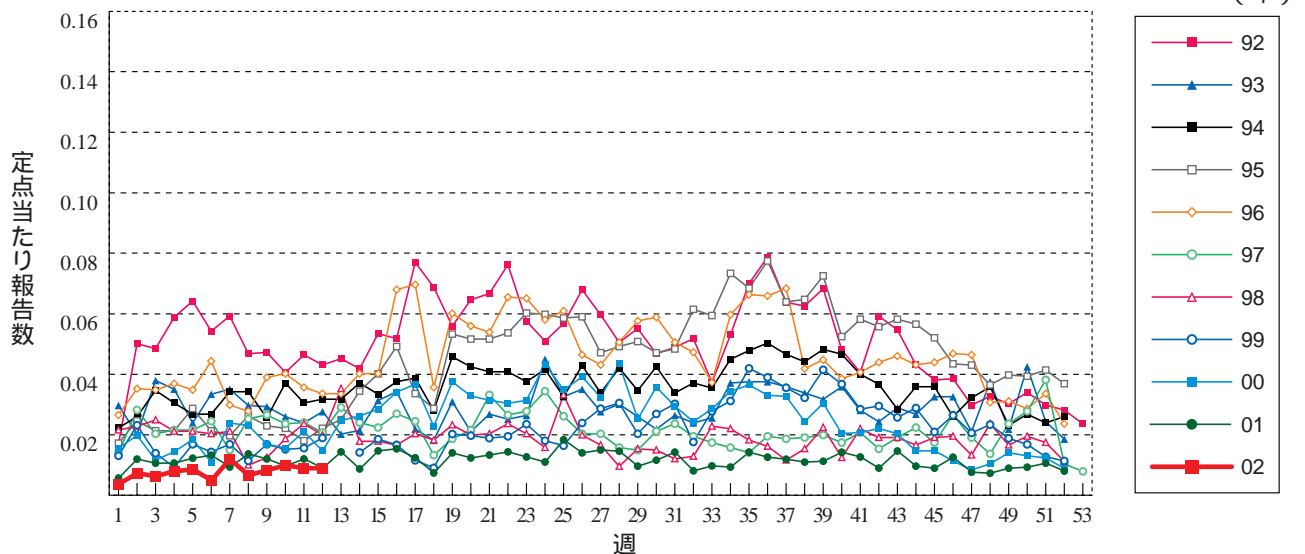
伝染性紅斑



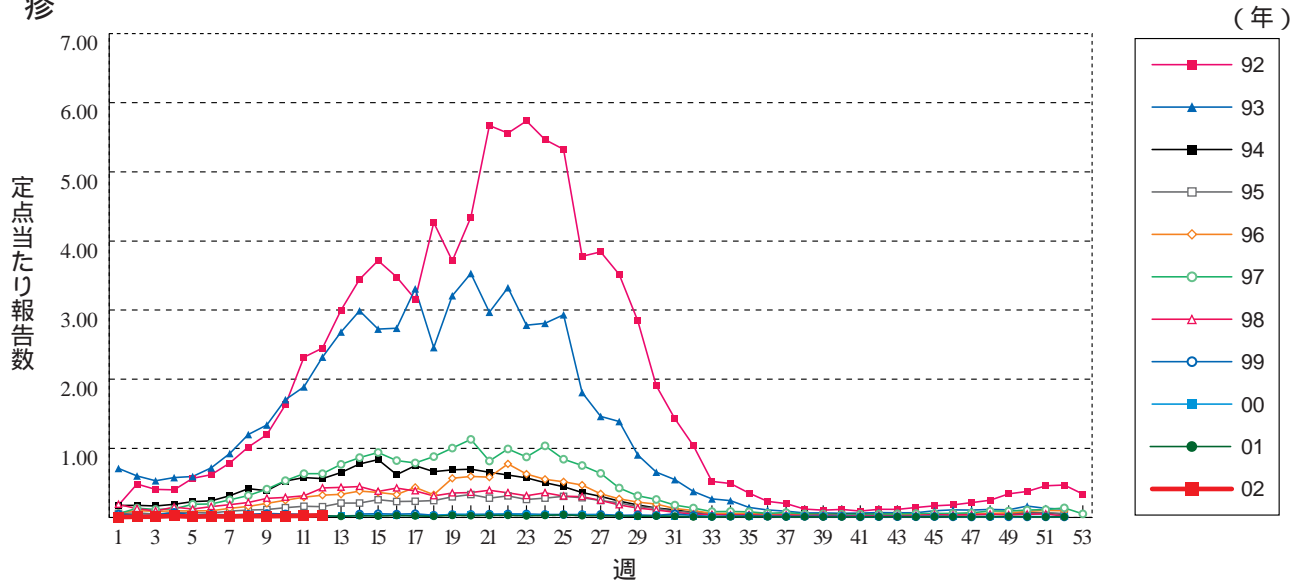
突発性発疹



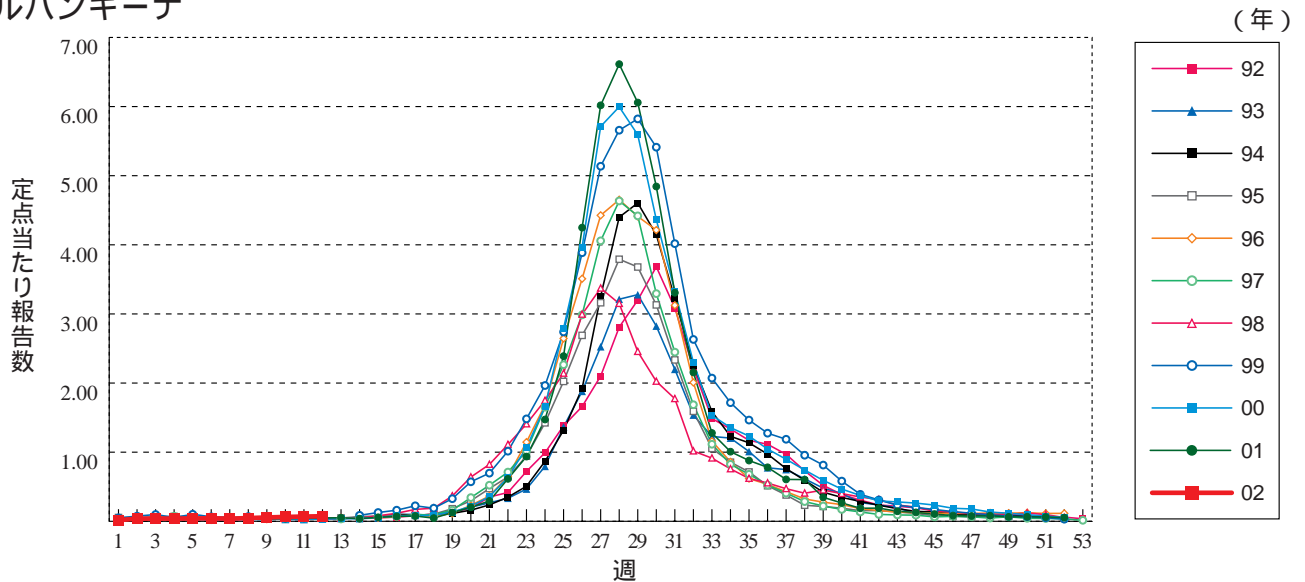
百日咳



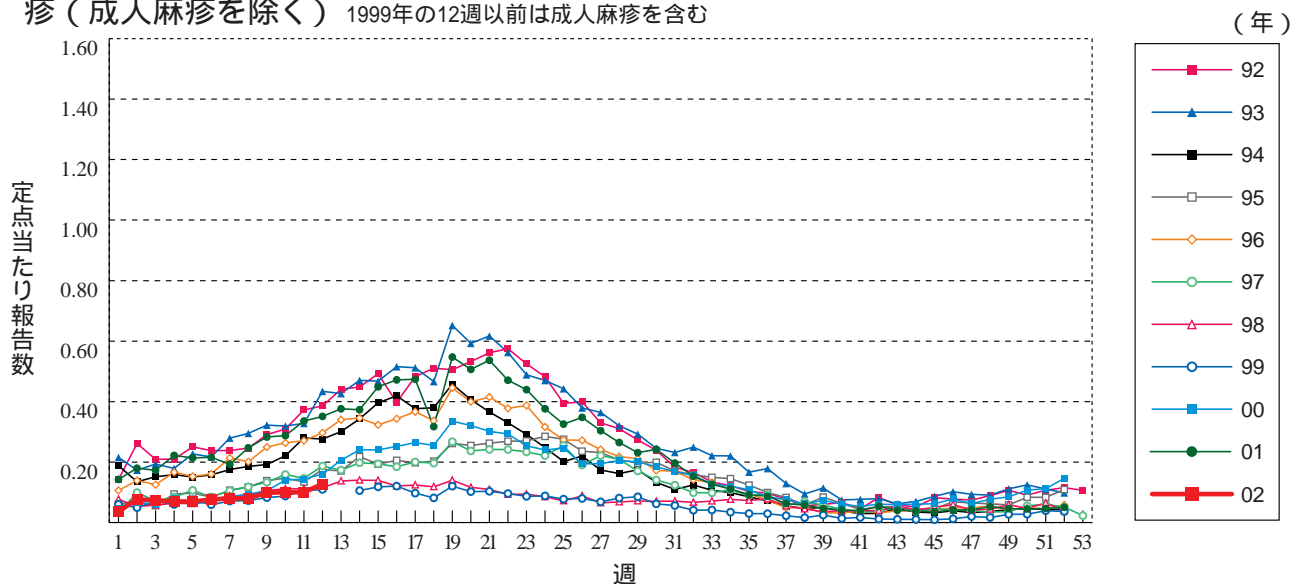
風 疹



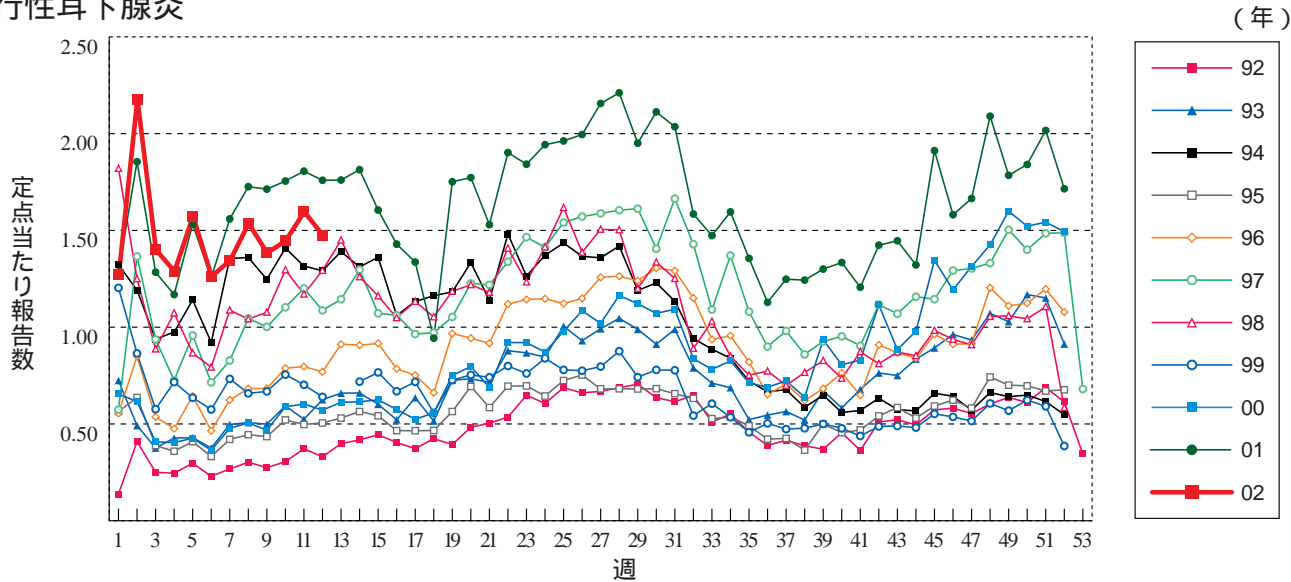
ヘルパンギーナ



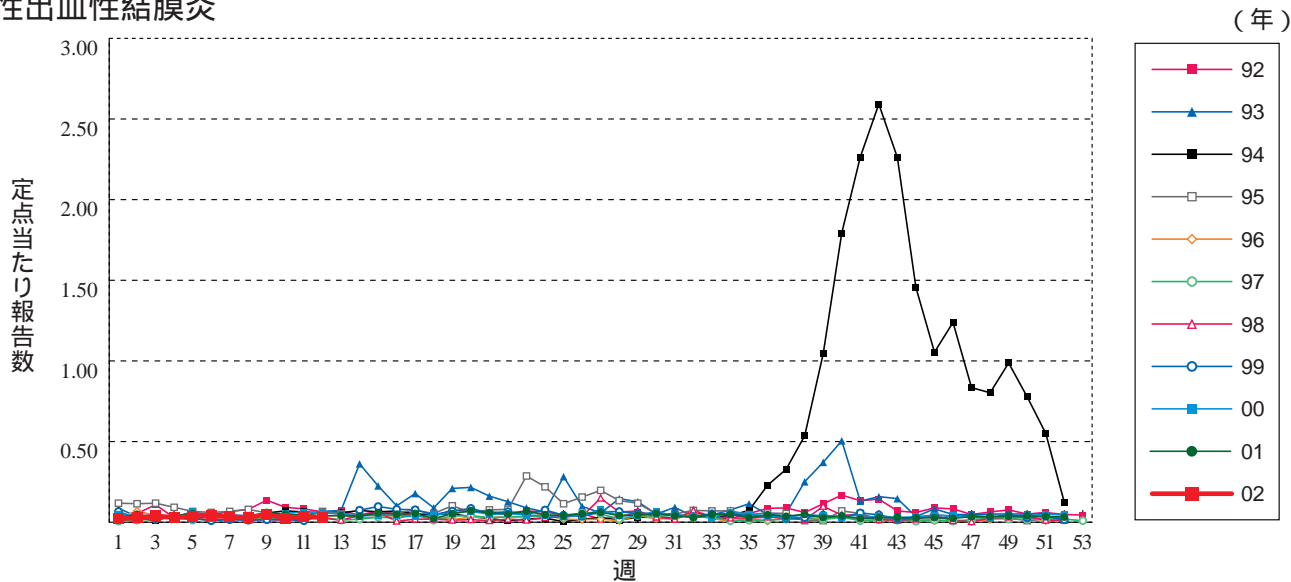
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



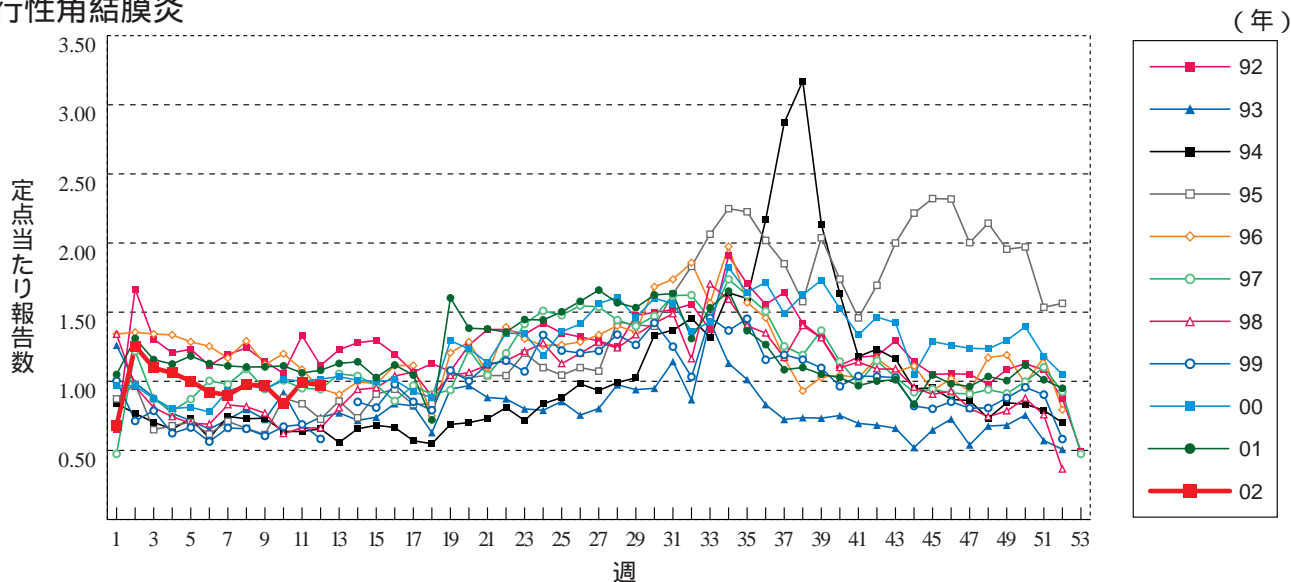
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

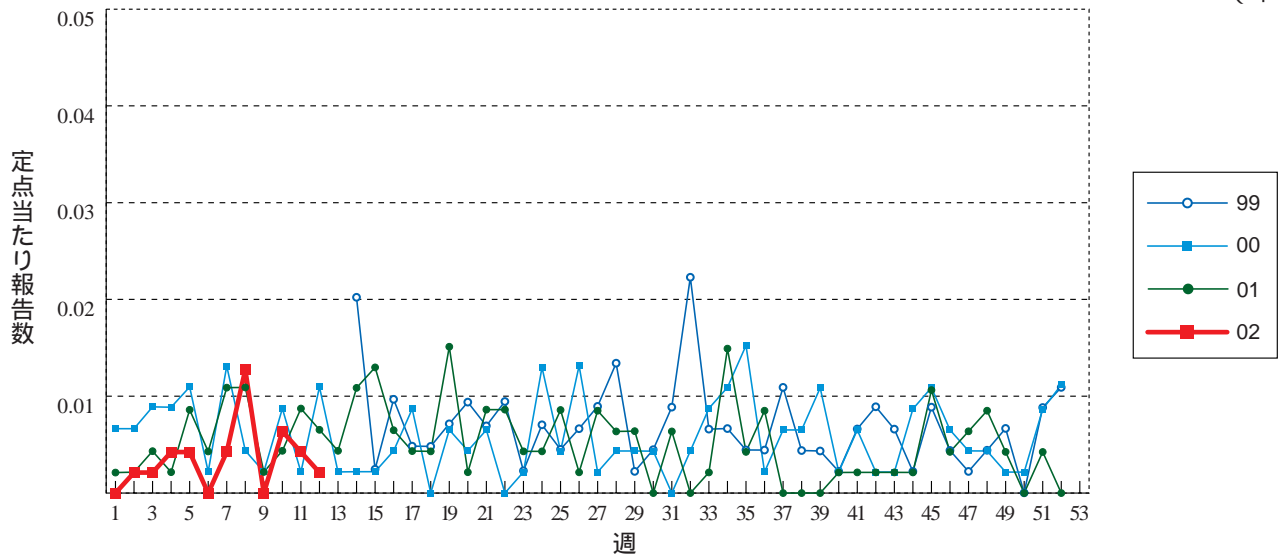


流行性角結膜炎



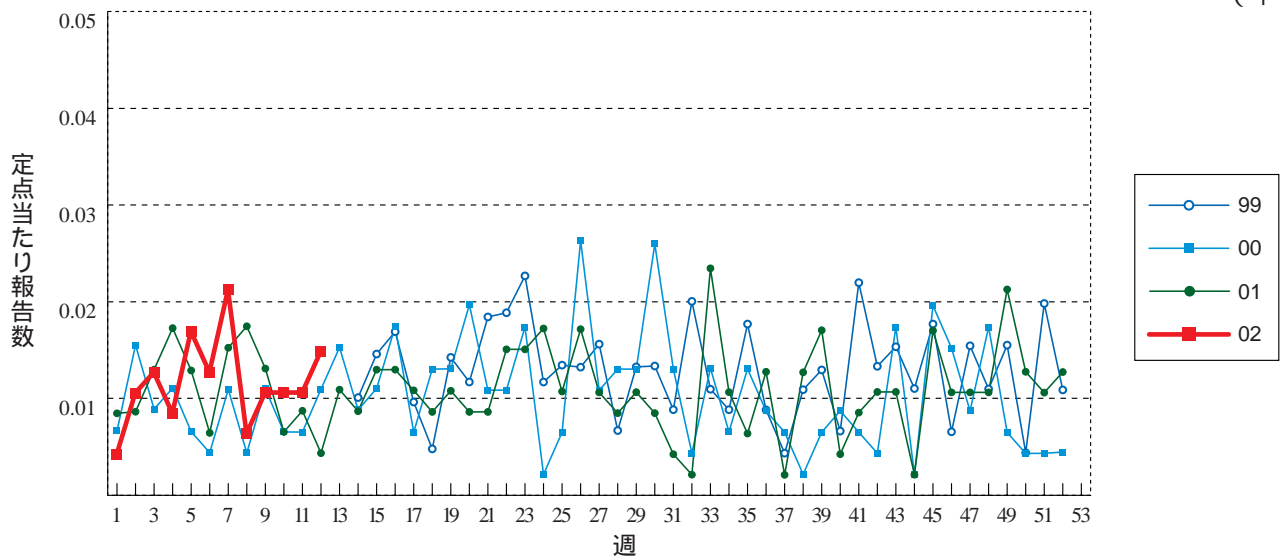
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



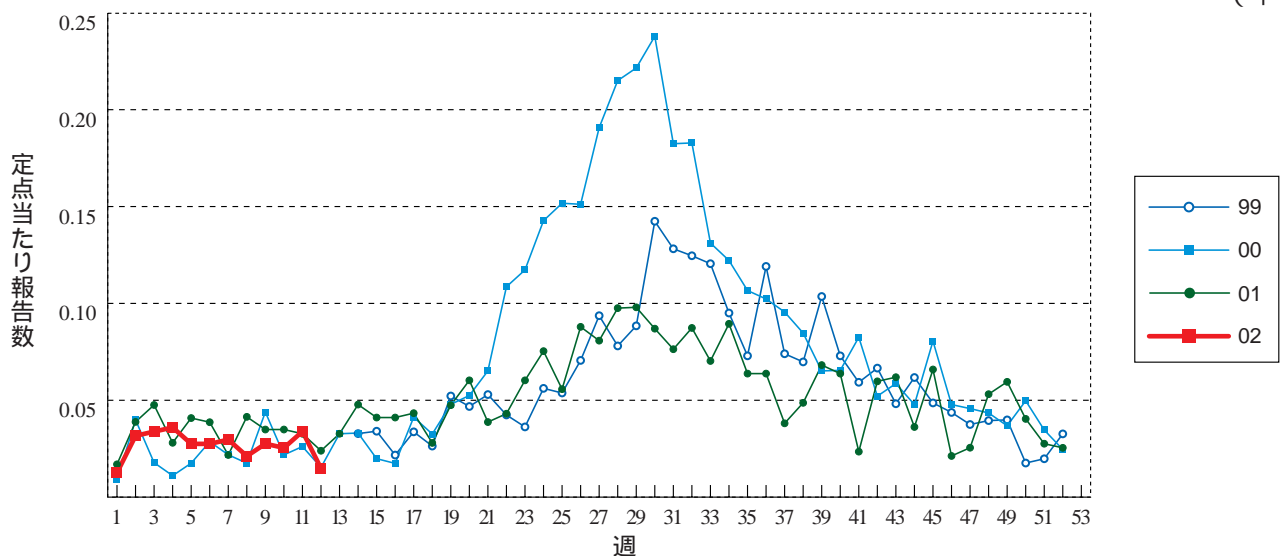
細菌性髄膜炎

(年)



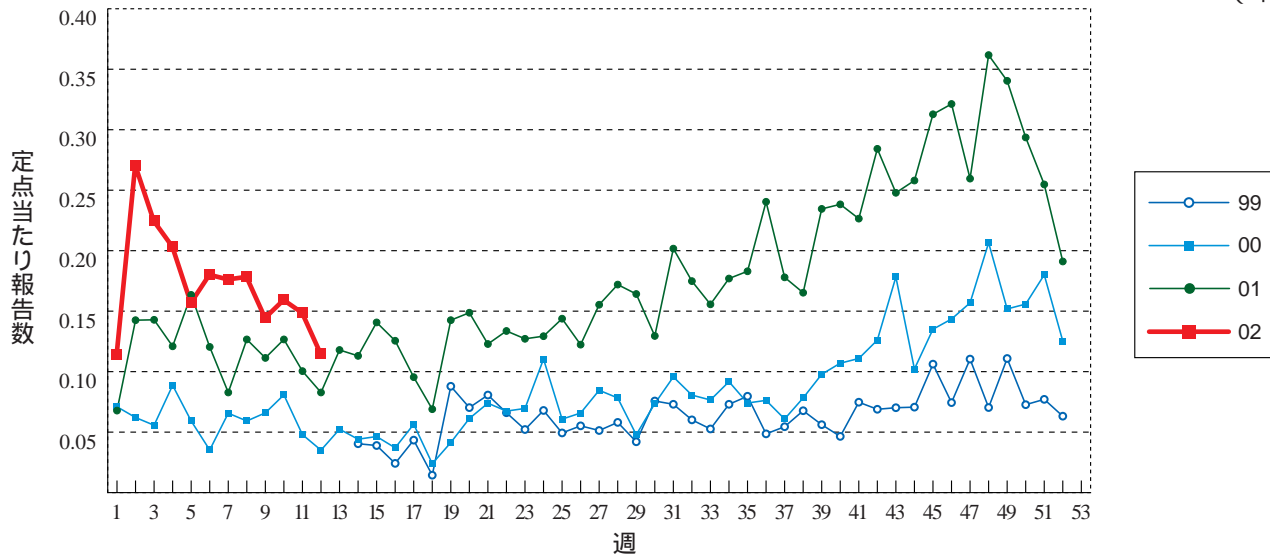
無菌性髄膜炎

(年)



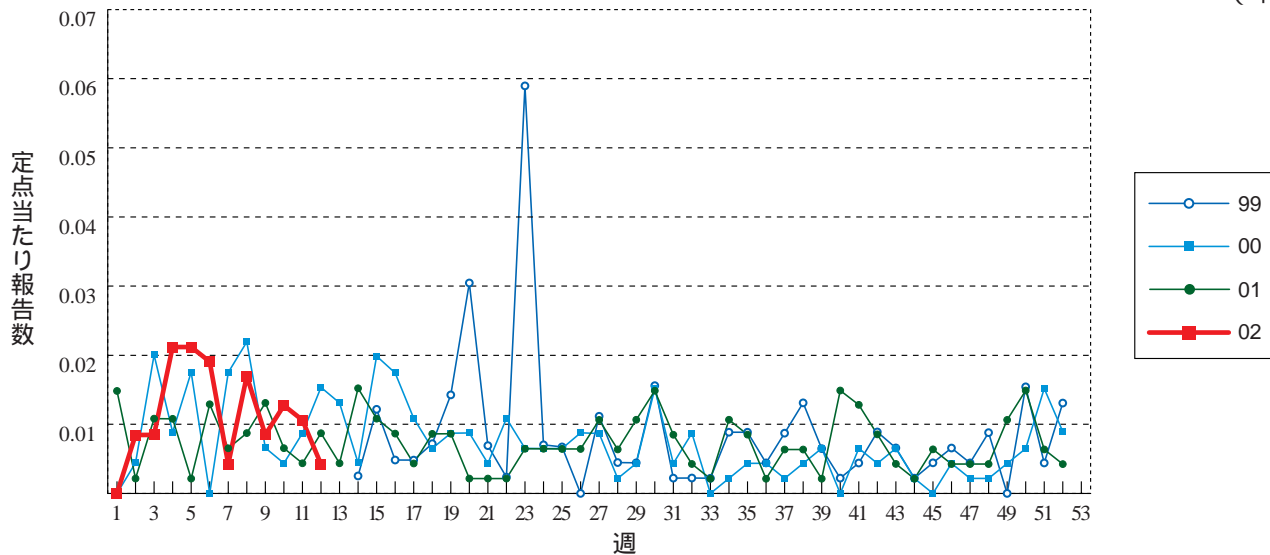
マイコプラズマ肺炎

(年)



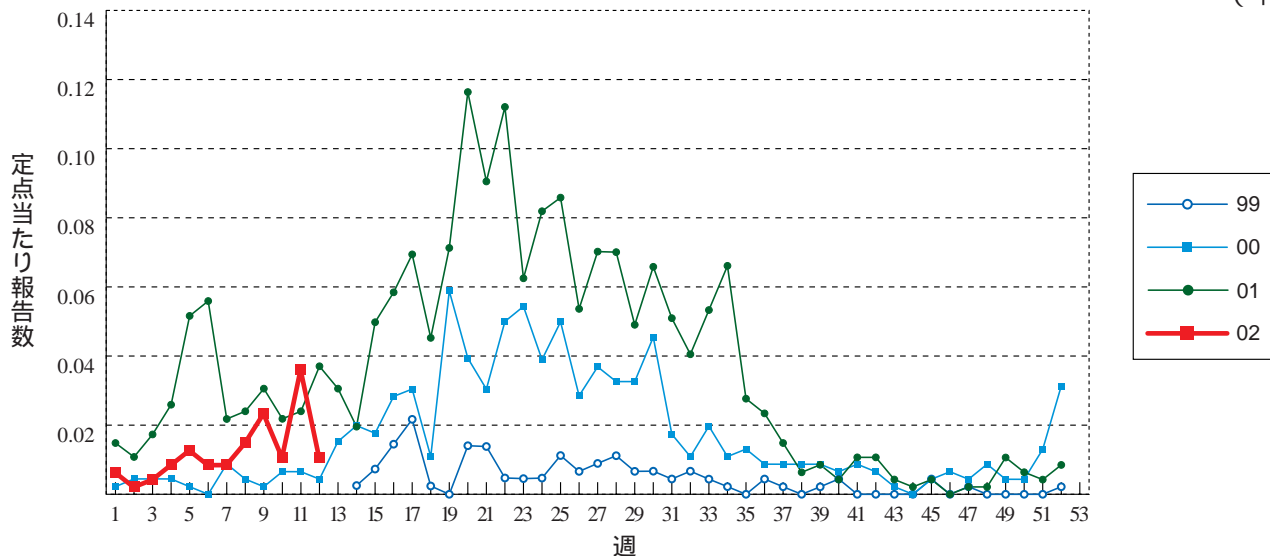
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





12週のデータ

注)表中の報告数は3月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年12週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	11	246	1	12	-	6	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	22	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	63	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	17	1	6	-	2	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	2	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年12週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	8	102	4	88	-	2	-	-	1	24	-	-	11	207
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮城県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
東京都	-	-	-	-	-	4	2	19	-	-	-	-	-	-	-	-	2	34
神奈川県	-	-	-	-	2	7	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
愛知県	-	-	-	-	-	6	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
三重県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	1	8	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	1	19	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	1	7
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	4
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
佐賀県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年12週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	62	-	32	-	26	11	154	-	1	-	16	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	9	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	6	71	-	-	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	10	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	9	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	1	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年12週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	2	37	-	10	-	-	-	-	-	-	5	110
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	17
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年12週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	-	-	-	26
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年12週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	36511	7.79	143	0.05	3775	1.25	22504	7.44	5505	1.82	335	0.11	1178	0.39	1919	0.63	27	0.01
北海道	3659	15.91	3	0.02	480	3.31	318	2.19	201	1.39	15	0.10	38	0.26	56	0.39	4	0.03
青森県	744	11.63	-	-	38	0.93	130	3.17	36	0.88	1	0.02	33	0.80	20	0.49	-	-
岩手県	691	11.33	-	-	31	0.84	126	3.41	72	1.95	-	-	5	0.14	16	0.43	-	-
宮城県	1440	14.85	1	0.02	70	1.19	612	10.37	140	2.37	12	0.20	20	0.34	40	0.68	-	-
秋田県	682	12.40	-	-	65	1.86	199	5.69	29	0.83	2	0.06	59	1.69	12	0.34	-	-
山形県	795	16.56	2	0.07	106	3.53	243	8.10	72	2.40	2	0.07	26	0.87	25	0.83	-	-
福島県	524	6.55	-	-	57	1.24	337	7.33	112	2.43	20	0.43	27	0.59	30	0.65	1	0.02
茨城県	570	4.83	-	-	57	0.77	349	4.72	60	0.81	2	0.03	26	0.35	12	0.16	2	0.03
栃木県	238	3.40	2	0.04	40	0.87	282	6.13	62	1.35	2	0.04	30	0.65	20	0.43	1	0.02
群馬県	1292	12.92	-	-	84	1.35	328	5.29	116	1.87	3	0.05	21	0.34	31	0.50	-	-
埼玉県	1154	4.54	7	0.04	244	1.55	1321	8.41	272	1.73	11	0.07	58	0.37	128	0.82	-	-
千葉県	2309	11.15	2	0.02	216	1.65	986	7.53	271	2.07	8	0.06	41	0.31	89	0.68	1	0.01
東京都	522	2.93	3	0.02	78	0.55	726	5.11	109	0.77	6	0.04	35	0.25	61	0.43	1	0.01
神奈川県	1372	4.18	14	0.07	226	1.10	1453	7.05	305	1.48	13	0.06	78	0.38	149	0.72	-	-
新潟県	2731	32.90	3	0.06	104	2.08	347	6.94	123	2.46	12	0.24	48	0.96	38	0.76	-	-
富山県	693	14.44	1	0.03	55	1.90	137	4.72	63	2.17	9	0.31	45	1.55	20	0.69	-	-
石川県	633	13.19	-	-	32	1.10	265	9.14	88	3.03	7	0.24	50	1.72	22	0.76	-	-
福井県	482	15.06	-	-	42	1.91	341	15.50	68	3.09	-	-	19	0.86	25	1.14	-	-
山梨県	324	7.90	-	-	25	1.00	137	5.48	17	0.68	-	-	3	0.12	9	0.36	-	-
長野県	1144	13.30	-	-	81	1.50	419	7.76	68	1.26	7	0.13	31	0.57	34	0.63	-	-
岐阜県	529	7.56	3	0.06	34	0.72	242	5.15	59	1.26	6	0.13	16	0.34	20	0.43	-	-
静岡県	631	4.61	10	0.12	99	1.15	640	7.44	192	2.23	16	0.19	32	0.37	68	0.79	-	-
愛知県	793	4.15	13	0.07	132	0.73	1101	6.05	201	1.10	14	0.08	29	0.16	124	0.68	2	0.01
三重県	608	8.33	-	-	34	0.76	557	12.38	82	1.82	1	0.02	31	0.69	33	0.73	-	-
滋賀県	190	3.65	-	-	10	0.32	141	4.55	70	2.26	1	0.03	10	0.32	14	0.45	-	-
京都府	381	3.02	1	0.01	67	0.88	449	5.91	68	0.89	3	0.04	39	0.51	34	0.45	1	0.01
大阪府	814	2.68	8	0.04	161	0.83	1238	6.35	320	1.64	38	0.19	50	0.26	114	0.58	1	0.01
兵庫県	1448	7.31	8	0.06	83	0.65	1170	9.14	325	2.54	12	0.09	47	0.37	92	0.72	3	0.02
奈良県	233	4.24	-	-	48	1.37	262	7.49	44	1.26	5	0.14	18	0.51	17	0.49	1	0.03
和歌山県	230	4.60	-	-	26	0.84	257	8.29	38	1.23	-	-	12	0.39	21	0.68	-	-
鳥取県	310	10.69	1	0.05	24	1.26	188	9.89	43	2.26	1	0.05	8	0.42	15	0.79	-	-
島根県	121	3.18	5	0.22	19	0.83	95	4.13	39	1.70	22	0.96	6	0.26	5	0.22	-	-
岡山県	565	6.73	2	0.04	29	0.54	336	6.22	65	1.20	3	0.06	4	0.07	20	0.37	-	-
広島県	1030	8.66	3	0.04	52	0.69	702	9.36	141	1.88	21	0.28	3	0.04	50	0.67	-	-
山口県	443	6.33	6	0.12	98	2.00	661	13.49	127	2.59	4	0.08	34	0.69	44	0.90	-	-
徳島県	170	4.47	-	-	28	1.22	182	7.91	27	1.17	-	-	9	0.39	13	0.57	-	-
香川県	434	8.51	3	0.09	19	0.59	202	6.31	67	2.09	9	0.28	13	0.41	21	0.66	-	-
愛媛県	415	6.48	3	0.08	70	1.79	376	9.64	68	1.74	1	0.03	19	0.49	45	1.15	2	0.05
高知県	226	4.61	-	-	48	1.55	276	8.90	37	1.19	38	1.23	8	0.26	11	0.35	-	-
福岡県	1533	7.74	5	0.04	299	2.49	1368	11.40	396	3.30	3	0.03	29	0.24	125	1.04	4	0.03
佐賀県	124	3.18	-	-	30	1.30	282	12.26	62	2.70	-	-	5	0.22	20	0.87	-	-
長崎県	947	13.53	1	0.02	17	0.39	233	5.30	73	1.66	-	-	23	0.52	19	0.43	-	-
熊本県	667	8.23	4	0.08	99	2.02	502	10.24	116	2.37	1	0.02	9	0.18	51	1.04	1	0.02
大分県	450	7.76	1	0.03	42	1.17	545	15.14	96	2.67	1	0.03	10	0.28	33	0.92	1	0.03
宮崎県	652	10.87	6	0.16	47	1.27	600	16.22	129	3.49	-	-	8	0.22	23	0.62	-	-
鹿児島県	232	2.37	22	0.37	21	0.35	791	13.18	231	3.85	-	-	13	0.22	38	0.63	-	-
沖縄県	336	5.79	-	-	8	0.24	52	1.53	105	3.09	3	0.09	-	-	12	0.35	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年12週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	95	0.03	221	0.07	384	0.13	4460	1.47	19	0.03	615	0.97	1	0.00	7	0.01	7	0.01
北海道	1	0.01	2	0.01	2	0.01	104	0.72	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	4	0.10	-	-	12	0.29	62	1.51	1	0.09	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1	0.03	45	1.22	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	3	0.05	4	0.07	137	2.32	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	0.03	91	2.60	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.03	-	-	2	0.07	155	5.17	-	-	12	1.50	-	-	-	-	2	0.20
福島県	-	-	1	0.02	29	0.63	105	2.28	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	17	0.23	82	1.11	-	-	46	2.88	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	99	2.15	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	5	0.08	12	0.19	47	0.76	-	-	29	2.07	-	-	2	0.20	-	-
埼玉県	2	0.01	8	0.05	64	0.41	116	0.74	1	0.03	22	0.61	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	2	0.02	1	0.01	47	0.36	136	1.04	2	0.06	47	1.42	-	-	-	-	-	-
東京都	3	0.02	5	0.04	10	0.07	83	0.58	-	-	13	0.93	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	3	0.01	10	0.05	26	0.13	209	1.01	-	-	34	0.81	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.04	-	-	161	3.22	-	-	9	1.50	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	2	0.07	3	0.10	120	4.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	68	2.34	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	5	0.23	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	0.04	65	2.60	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.02	-	-	130	2.41	-	-	11	1.10	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	-	-	15	0.32	45	0.96	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	1	0.01	19	0.22	139	1.62	-	-	11	0.55	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.02	3	0.02	77	0.42	198	1.09	-	-	18	0.51	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1	0.02	50	1.11	-	-	6	0.50	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	-	-	4	0.13	27	0.87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	3	0.04	3	0.04	2	0.03	79	1.04	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.02	18	0.09	1	0.01	179	0.92	2	0.04	26	0.50	-	-	-	-	-	-
兵庫県	3	0.02	6	0.05	-	-	153	1.20	-	-	34	0.94	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	75	2.14	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	1	0.03	61	1.97	-	-	4	1.00	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	3	0.16	2	0.11	21	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.04	-	-	3	0.13	34	1.48	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.07	1	0.02	2	0.04	125	2.31	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	8	0.11	4	0.05	82	1.09	-	-	32	1.60	-	-	-	-	-	-
山口県	5	0.10	11	0.22	2	0.04	63	1.29	-	-	18	2.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	67	2.91	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	-	-	36	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	8	0.21	-	-	92	2.36	-	-	16	2.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	-	-	24	0.77	-	-	5	1.67	-	-	1	0.13	-	-
福岡県	41	0.34	21	0.18	8	0.07	173	1.44	3	0.12	41	1.58	-	-	2	0.13	-	-
佐賀県	-	-	5	0.22	-	-	29	1.26	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	15	0.34	-	-	64	1.45	10	1.25	22	2.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	22	0.45	6	0.12	41	0.84	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	38	1.06	4	0.11	90	2.50	-	-	7	1.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	6	0.16	-	-	137	3.70	-	-	16	4.00	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	6	0.10	5	0.08	-	-	195	3.25	-	-	12	2.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	1	0.03	161	4.74	-	-	6	0.60	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年12週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	54	0.11	2	0.00	5	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	1	0.08	1	0.08
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	1	0.10
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	-	-
神奈川県	4	0.36	-	-	1	0.09
新潟県	4	0.33	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	2	0.15	-	-	1	0.08
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.14	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	3	0.38	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	4	0.19	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	1	0.07	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第12号 平成14年4月5日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。